

CUSTOMER REVIEWS

お客様の声

2017年1月に完成した、広い玄関土間に薪ストーブのあるY様邸。住み始めてから約5年が経った様子をご夫婦にお伺いしました。

■家を建てようと思ったきっかけは？

農業がやりたいと思い、10数年前にこの土地と建物を買って、当時住んでいた姫路から毎週末通って農業をしていました。ご近所さんたちにいい人が多く、ゆくゆくはこっちに住みたいと思うようになりました。

最初は元々あった家のリフォームを考えましたが、床下が腐ってダメになっていたこともあり、立て替えることにしました。



■ 兵恵建設との出会いは？

ご近所さんに薪ストーブを使われている方が多く、家を建てるなら薪ストーブも付けたいと思っていました。知り合いにいい工務店がないか尋ねたところ、「兵恵建設さんが木の家で薪ストーブのある家を建てくれるから、問い合わせてみたら。」と、勧められました。現会長とお会いして話して、その後も何件か物件を見させていただきました。

■ 建築中の感想は？

私たちのこだわりが強かったと思いますが、よく話を聞いてくれ対応してくれました。会長がスケッチを描いてくれたり、私たちもイメージを絵に描いて郵送で送ったりと、やりとりも楽しかったです。「こんな感じがいいな、こんな棚があっ



たらしいな」というような

曖昧な要望も、うまくカタチにしてくれました。

また提案してくれたことも色々あります。玄関の手摺りに流木を使うことや、スロープに前の家の瓦を模様にして入れようと提案してくれたのは上原さん。キッチンの格子は高山さんが提案してくれ、格子の見本を何個か作って、どのくらいの幅がいいかまで確認してくれました。

大工さんは朝早くに現場にきて、丁寧に黙々と仕事をしていました。毎週末来るたびに現場を見ていましたが、仕上がりが美しく感動しました。

■ 住み心地はいかがですか？

とても落ち着きます。窓から見える風景がいいので、より自然が楽しめるようになりました。立て替える前の家は湿気がすごかったけど、今は湿気がなくなり快適です。気に入っているところは、庭の見えるベンチ、玄関、リビング、薪ストーブ、洗面所もキッチンもトイレもとにかく全部。全部



気に入っています。屋根が大きく軒が深いのもよかったです。

広い玄関土間は畑で採れた野菜を置いたり、薪も気兼ねなく持ち込めるし、冬は薪ストーブの周りに農業仲間やご近所さんと集まって、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごしています。



■ あとがき

広い敷地に木々に囲まれて佇むY様邸。様々な果樹木や植物が庭に植えられています。インタビュー当日には目の前の山で採れた栗を焼いてくださったり、畑で採れた新鮮なパズルをお土産にいただきました。晴れの日には畑仕事、雨の日にはご夫婦共通の趣味である竹細工をつくったりと、自然に囲まれた里山で昔ながらの豊かな暮らしを満喫されていました。

DATA

インタビュー：2022年9月
竣工：2017年1月(新築)
家族構成：ご主人、奥さま
延床面積：119.02㎡(36.00坪)

POSTSCRIPT | 編集後記

これから迎える秋本番。親戚や近所の方から、栗やさつまいも、梨、みかんなど、秋の味覚をたくさんいただきました。ツヤツヤの新米とともに、実りの秋を満喫したいと思います。皆様も心地よい秋を肌で感じたり、目で見たり、季節ならではのイベントを楽しんで過ごしてくださいね。

お元気ですか？

HYOE KENSETSU NEWS LETTER

スポーツの秋、食欲の秋となりましたが皆様はどのようにお過ごしでしょうか。今秋は見学会を多数計画しております秋のお出かけの一つとしてぜひご参加いただけますと幸いです。澄み切った秋空のように、皆様のお気持ちも爽快でありますようお祈り申し上げます。



content

- トピックス
- 家づくりの豆知識
- 薪ストーブ情報
- お客様の声
- 職人紹介

STAFF | 職人紹介

みずしま こうじ
水島 宏二
(K's Housing)



仕事内容

大工

趣味・好きなこと

野球、バイク(ZRX1100)、ゴルフ

家づくりへの想い

綺麗な仕事をしたいと思ってやっています。リフォームが面白いです。兵恵建設の会長がリフォームを手掛けているのを見て、こんなやり方があるんだとか、今まで見たことないリフォームをしているのを見てこの人は凄いと思いました。

お客様へのひと言

家づくりは一生で一番高い買い物。手は抜けません。自信をもってやっています。



TOPICS | 兵恵建設とファイヤーワールド 岡山のトピックスやニュースの最新情報をお知らせします

1 社長邸上棟しました



8月27日(土)、弊社社長宅の上棟を行いました。台風の前でしたが幸い天候にも恵まれ、青空と緑の田んぼが広がる最高のロケーションで行うことができました。床部分のみのフラットな状態からはじまり、夕方には立派な木組みが出来上がります。場所が特定される可能性があるため、施主さまのお家ではなかなかできないドローンやタイムラプス撮影もこの機会にしてみました。随時弊社SNS等にアップしていきますので、ぜひチェックしてみてくださいね。締めくくりは、近所の方やOB様をお招きして餅投げを行いました。完成は12月末～年明けの予定です。完成しましたらぜひ見学にお越しください。



2 兵恵建設の土地情報

兵恵建設の新しい土地情報です。場所は津山市小原、閑静な鶴山団地の中に約55坪ほどの土地を2区画ご用意いたしました。東西に分かれた細長い宅地ですが、2区画まとめたのが購入も可能です。詳しくは弊社HP「土地情報」をご覧ください。

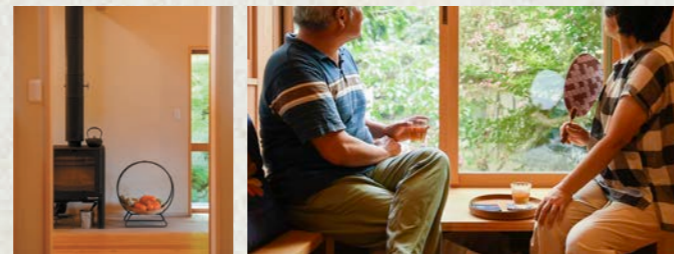


3 暮らしの見学会(OB様宅訪問)を開催

9月17日(土)・18日(日)に備前市でOB様宅「暮らしの見学会」を開催しました。台風14号が近づくなか天候が不安でしたが、影響はほぼなく、無事に開催することができました。

今回のお宅は5年前に新築されたY様邸、広い玄関土間と薪ストーブのある平屋のお家です。5年経つてると思えないほど、とても綺麗に住まわれていました。家の中は木をふんだんに使った空間。大きな梁に杉の無垢フローリング、造作家具に建具...

見学されたお客様も「落ち着く空間で泊まって帰りたいです。」「まるで旅館のような雰囲気素敵でした。」など、嬉しい感想をいただきました。ご来場くださった皆様、2日間お家を開放してくださいました。ありがとうございました。



4 新築2棟、完成見学会開催します

10月8日(土)・9日(日)の2日間は津山市にて、11月上旬には美作市にて、それぞれ新築完成見学会を開催いたします。家づくりを検討中の方はぜひお気軽にご参加ください。また、ご家族やご友人に家づくりを検討中の方がおられましたら、お知らせいただけますと幸いです。詳しくは弊社HP、SNS等をご覧ください。



親族が集う薪ストーブのある家(美作市)のイメージパース

5 「建築現場管理」募集しています

兵恵建設では現在「建築現場管理」のスタッフを募集しています。「家づくりに興味がある」「建築が好き」「お客様の夢を形にする仕事をしたい」...そんな思いを抱いている方、私たちと一緒に働きませんか？ またお知り合いに良い人がいるという方、ぜひご紹介をお願いします。弊社HPの「求人情報」をご確認いただき、フォームよりご連絡ください。



HOMEBUILDING TIPS | 兵恵建設のスタッフが家づくりの豆知識をご紹介します

太陽と窓はお家の暖房器具

今回は太陽と窓がお家の暖房器具になるお話しをします。まずは住宅における窓の役割について、一般的に思いつくことをまとめてみます。

- ① 採光(外の光を取り入れる)
- ② 眺望(外の景色が見える)
- ③ 通風(風通し)

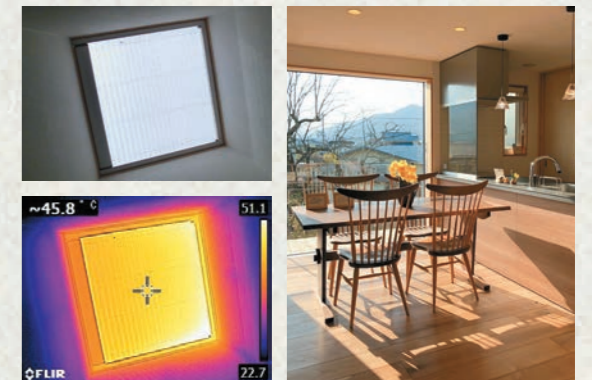
この3点以外に、太陽の日射が窓ガラスに当たることで、窓は「暖房器具」としての役割も担っています。

「窓が暖房器具になる」とはどういうことか、ピンとこない方も多いと思いますが、「軒や庇を出して、太陽が高い位置にある夏は日を遮り、太陽が低い位置にある冬は太陽の日を取り入れる」といったことを耳にしたことはありませんか？ いわゆる「パッシブ設計」をする際には、窓が暖房器具になることを考えながら設計されているのです。

分かりやすい例として、車内をイメージしてみましょう。夏場に日が差した車内は大変な高温になりますよね。また冬場の寒い日でも日が差した車内は暖かくなります。これが太陽と窓の暖房効果です。

しかし車は断熱されていないので、保温性が低く、車内の上がった温度は日が差さなくなるとすぐに下がってしまいます。仮に車の断熱性が高ければ上がった温度を持続することができるのです。これはお家でも同じことで、太陽と窓の暖房エネルギーを有効活用させるためには、断熱性の高い家を建てるのが重要となります。

では窓から入る冬場の日差しが具体的にどれほどの熱量なのか。例えば2月の晴れた時間帯で、南面の大きい窓(3.3m²)の場合、1630W。電気ストーブに例えると800W



の電気ストーブ約2台分になります。

ただ今建設中の私の自宅では、しっかりと太陽の熱を取り込み、高い断熱性で暖かさを維持できるつくりとなっています。ちょうど寒い時期に完成する予定ですので、ぜひ「窓の暖房効果」を体感しに来てください。

兵恵建設 代表取締役
兵恵 慎治



WOOD STOVE | ファイヤーワールド岡山より薪ストーブ情報をご紹介します

薪ストーブのシーズンになりました

秋色日毎に深まり、澄み渡る空気が心地よく感じられる今日この頃です。朝晩の冷え込みも厳しさを増してまいりました。

今年も薪ストーブのシーズンがやってきます。長引くコロナ禍の中、薪ストーブの温もりと炎に癒しを求めて、薪ストーブの導入を決意される方が増えています。

オフシーズンの4月から9月の間、メンテナンスとともに設置工事も多くさせていただきました。10月からはお取扱説明に順次お伺いさせていただきます。

薪ストーブは、スイッチ一つで動く便利な道具ではありません。自分の手で、薪を運び、火を付け、炎をコントロールする必要があります。火を扱う道具なので、危険も伴います。安全に快適に使っていただくために、お取扱説明は時間をかけて、丁寧に説明さ

せていただきます。オーナー様の薪ストーブライフが素晴らしいものでありますように、心を込めて。

薪ストーブの設置も10月から12月にかけてピークを迎えます。ショールームでは、暖かい炎でお客様のご来場をお待ちしております。実演体験、着火体験もできますので、ぜひお越しいただければと思います。

薪ストーブの施工例(2022年4月から9月にかけて)

